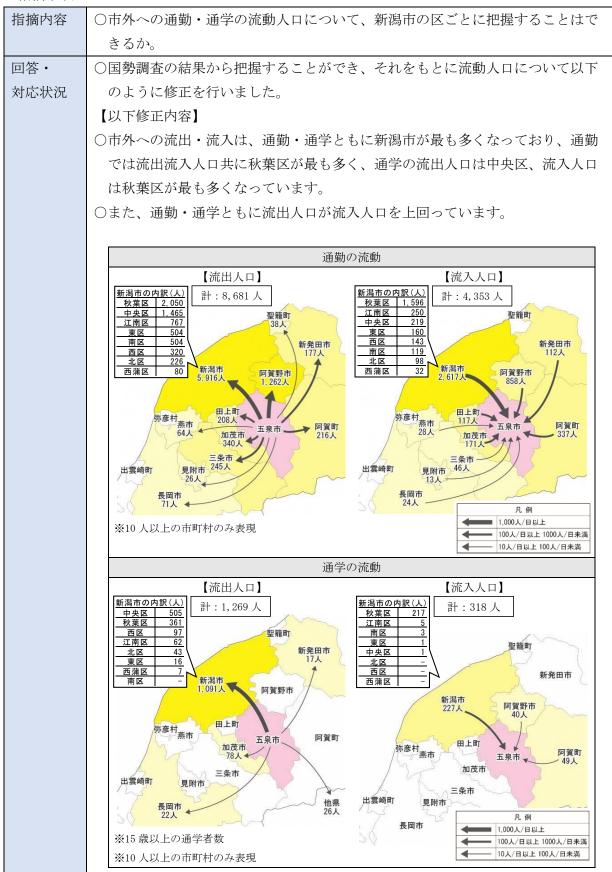
第2回協議会における指摘事項への回答・対応状況

■指摘事項1



■指摘事項2

指摘内容

○さくら号については、お断りの原因のより深い考察が必要である。例えば、1 便の運行時間が足りない、車両定員を超えるなど。また、最初からデマンド運 行ありきで運行内容の見直し検討のみを行うのではなく、デマンド運行は利用 実態に最も適した運行方法なのかという点からも検討する必要がある。

回答· 対応状況

- ○予約のお断りが発生する理由は、運行時間(30分)に間に合わないということが主な理由であり、運行車両の定員を超えることでのお断りはほとんどありません。(現状の運行方法だと、1回の運行では概ね3人(箇所)/便が限度)
- ○さくら号の利用者の多くは、アンケート調査や利用実績から、他の公共交通の 年齢層と比較して高齢者層の割合が高くなっています。また、郊外部は人口が 分散しており、定時定路線にすることで、さくら号の現利用者が停留所へ移動 する必要が生じ、利用者へ負担がかかることが懸念されます。以上から、現状 のドア to ドアの運行を継続する方向で検討を行います。
- ○さらに、さくら号の導入は交通事業者の定時定路線運行の撤退が背景となって おり、支線における定時定路線を運行する場合、担い手の確保や大きな経常損 失の発生等の問題が想定されます。よって、現状のデマンド方式を継続するこ とを前提とし、改善へ向けた運行内容の再検討を進めていきたいと考えます。 (運行時間の変更、運行車両の増車(セダン)、オペレーターの増員など)。

表 各公共交通の年齢層

年齢	さくら号	ふれあい バス	大関線	保田線	鉄道	加茂市営 市民バス
10 歳未満	0%	0%	19%	0%	2%	0%
10代	4%	15%	6%	60%	17%	13%
20 代	2%	8%	6%	20%	9%	0%
30 代	3%	5%	6%	0%	4%	0%
40 代	8%	7%	6%	0%	9%	13%
50 代	11%	9%	16%	0%	14%	13%
60 代	13%	12%	6%	0%	13%	38%
70 代	23%	19%	22%	0%	19%	13%
80 代以上	37%	26%	13%	20%	12%	13%
60 代以上計	73%	56%	41%	20%	44%	63%

■指摘事項2:補足資料

方面	車両								
万画	時刻	1号車	2号車	3号車	4号車	5号車	6号車	7号車	合計
	7:00	0.1	0.1	0.3	0.3	0.0	1.1	0.2	2.1
	8:00	3.1	1.3	1.2	1.8	1.8	2.3	1.7	13.1
郊	9:00	2 .9	3.1	3.1	2 .9	2.7	3.5	2.5	20.7
外外	10:00	2.5	2.6	3.1	2.7	2.2	2.5	2.1	17.7
⁷	11:00	2.0	1.9	2.6	2.1	1.2	1.9	1.6	13.3
中	13:00	1.2	1.2	1.9	1.4	1.0	1.0	1.2	8.8
心	14:00	0.6	0.7	1.3	0.8	0.5	0.5	0.9	5.3
部	15:00	2.2	1.1	1.6	1.1	2.0	0.5	0.5	8.9
^{ED}	16:00	3.7	2.3	0.7	0.9	0.4	0.3	0.5	8.7
	17:00	0.3	0.5	0.5	0.4	0.1	0.4	0.1	2.4
	18:00	2.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	0.2	3.5
	7:30	2.2	0.9	0.4	0.8	0.0	0.3	0.1	4.8
	8:30	3.7	1.3	2.3	0.6	0.2	0.2	0.4	8.7
_中	9:30	0.5	0.7	0.3	0.7	0.4	0.7	0.5	3.9
心	10:30	1.1	1.1	0.7	1.0	1.9	1.2	1.3	8.3
部	12:30	2.4	2.4	2.6	2.1	2.2	2.5	1.7	15.9
中	13:30	1.0	1.4	1.2	0.9	1.1	1.4	0.9	7.8

1.3

1.8

2.3

0.4

0.1

29.8

0.9

1.7

1.9

8.0

0.2

25.9

0.9

0.9

1.7

0.7

0.2

22.0

0.9

1.3

2.2

0.9

1.9

28.0

1.0

1.1

1.6

1.0

0.1

21.2

6.7

10.8

14.8

5.2

2.8

194.2

表 さくら号の需要(利用実績 + お断り件数)(平日)

単位:人/日

14:30

15:30

16:30

17:30

18:30

郊

外

0.9

2.6

0.6

0.1

39.1

8.0

1.5

1.8

0.9

0.2

28.0

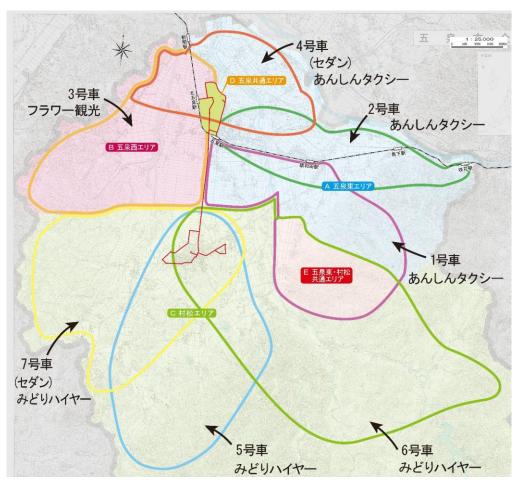


図 各車両の運行エリア

表 さくら号の需要(利用実績+お断り件数)(土曜)

+=	吐力	車両								
方面	時刻	2号車		3号車		5号車		7号車	合計	
	7:00		0.1	(0.6	(0.6	0.1	1.4	
	8:00		1.9	(0.3	2	2.3	1.1	5.7	
郊	9:00		2.5	1	1.6	;	3.1	2.7	9.8	
外	10:00		2.5	2	2.4		2.8	2.4	10.1	
→ 1¢	11:00		2.5	2	2.2	2	2.0	1.9	8.5	
中	13:00		1.0	1	1.0		1.0	0.6	3.7	
心	14:00		0.9	(0.4	(0.4	0.5	2.1	
部	15:00		1.5		0.4	(0.5	1.1	3.5	
ㅁÞ	16:00		1.9	(0.1	(8.0	0.9	3.6	
	17:00		0.7	(0.2	(0.6	0.4	1.9	
	18:00		1.7	(0.2	(0.1	0.5	2.5	
	7:30		1.3	(0.0	(0.1	0.6	2.0	
	8:30		2.1	().4	(0.7	0.8	4.1	
中	9:30		1.1	().2	(8.0	0.5	2.5	
心	10:30		1.7	(0.9		1.8	1.4	5.9	
部	12:30		2.2	1	1.6	;	3.8	1.9	9.6	
יום →	13:30		1.9	1	1.4		1.1	1.1	5.5	
郊	14:30		0.9	1	1.0		1.1	1.6	4.6	
外	15:30		1.4	1	1.1		1.4	1.4	5.3	
71	16:30		1.8	(9.0		1.2	1.2	5.0	
	17:30		0.9	(0.3	(8.0	0.8	2.8	
	18:30		0.4	(0.0		1.3	0.3	2.0	
Í	合計		3.0	17	7.2	28	8.2	23.8	102.3	

単位:人/日

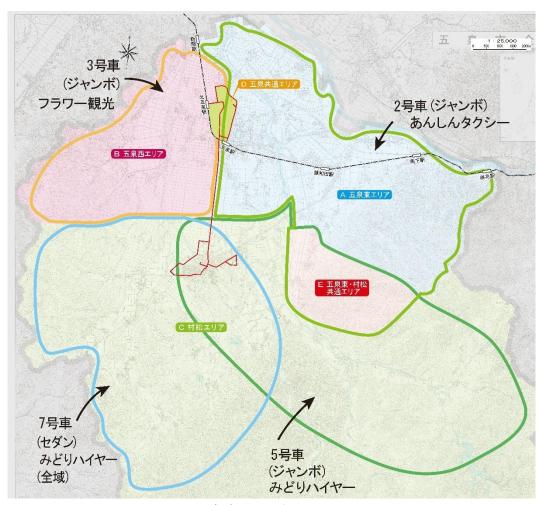
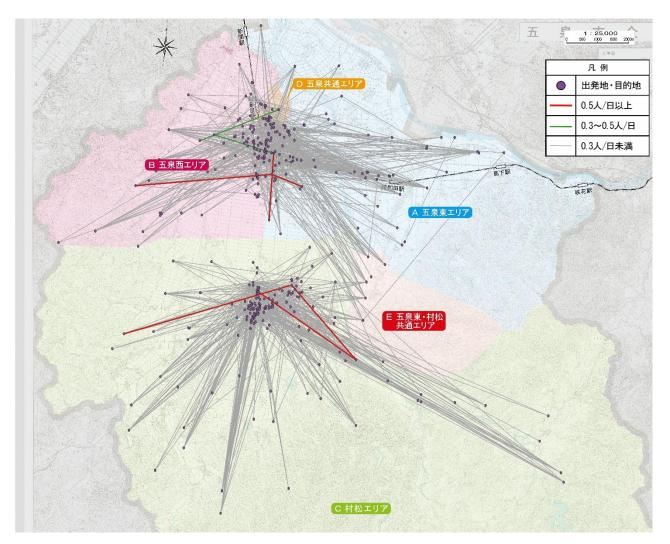


図 各車両の運行エリア

【参考】さくら号の平日 9:00 発の便の流動図



※出発地・目的地は行政区または施設ベースで作図しており、実際の需要は上図よりもばらつきがある。

■指摘事項3

指摘内容	○五泉市複合施設については、利用者層や施設の利用目的に合わせて、公共交通
	の通し方を考えるべきである。新しい施設ができるからといって、無条件に公
	共交通を通す必要はないのではないか。
回答•	○五泉市複合施設は、「生涯学習エリア」や「産業振興エリア」、「子どもの遊び
対応状況	場」の3つの機能をあわせ持つことで、利用対象者の幅の広がりや施設の稼働
	率向上を目指し、市内外から多くの人に来訪してもらえる施設となるよう検討
	が進められてきました。そのため、誰もが円滑にアクセスできるような環境を
	整える必要があると考えています。
	○上記の方針を実現するため、まずは多くの方の施設利用が見込まれる土休日を
	ベースに、ふれあいバス等について、運行ルートの延伸や乗入れ、停留所の設
	置等が可能かどうか、交通事業者の皆さんと協議・調整を行っています。

■指摘事項4

指摘内容	○五泉中央病院への乗り入れについて、他施設でロータリーに送迎バスやタクシ
	ーが混在し、スムーズなバスの乗り入れができなかった経験があるが、そのよ
	うな点について考慮されているのか。
回答•	○確認を行ったところ、バス乗降所とタクシー乗降所、待機場所をそれぞれ設定
対応状況	することで円滑な交通の流れとなるよう考慮されるとのことです。(別紙参照)

■指摘事項5

